

# メルヘンハウス通信

今月の和とく情報

## 羽織ふたたび

昭和20、30、40、50年代と羽織丈は、せいぜい腰が隠れる位の丈で、コートはそれより少し長ければ良いと言う時代が続いていたと思われます。

50年代までは羽織をまだ着られる方もいらして、黒の絵羽織、絞りの羽織を作られた方も多くいたと思います。

それ以後羽織を作る方、着る方は急速に減ってしまったことは残念なことです。理由は色々あるでしょう。キモノ離れ、社交着や式服が主流になった着物の世界では、羽織の出る幕がなくなってしまったからでしょう。

こんな風潮が長くありましたが、嬉しいことに最近、羽織の良さに目を向けて下さる方が、ぼちぼちと増えつつあることを実感しています。

これからの和とくポイント

## これからの羽織は

最近羽織を着てみたいと思われる方はどんな理由からでしょうか。一時、羽織は着ないでコートばかり増やす事が多くなっておりました。どうしても訪問着などしか着る機会の無い方には、羽織は要りません。

でも着物を日常的に着る楽しさ、嬉しさを知る方にとっては、羽織を着る、羽織ると言うことは、特別のことではなく、むしろ必要なことです。

帯び出して出掛けられるよりは、羽織やコートを着用されると端から見た目に品格があります。

羽織は屋内、屋外も着たままで良いのですから、衿もとが寒ければショールをして凌げば良いのです。着物を様々な場で着てみたいと思うほど、羽織も便利な物と気づかされます。

服で言えばカーデガン、ジャケットの役割でしょうか…防寒、塵よけの役もあるでしょう。何より脱ぐ必要がないのも楽です。帯も前の柄は見せられるけれどオタイコの形はちょっと心配と思うときに便利かもしれません。

それからもう一つ考えられるのは、温暖化のせいではないでしょうか、昔ほど寒くありませんし以前は、真冬に羽織の上にコートを重ねて着たものですが今は、冬はコートだけ、本当に寒くなるまで結構羽織でも良いかもしれないとさえ思うのです。



今日もきものの気分

## やしまからのお知らせ

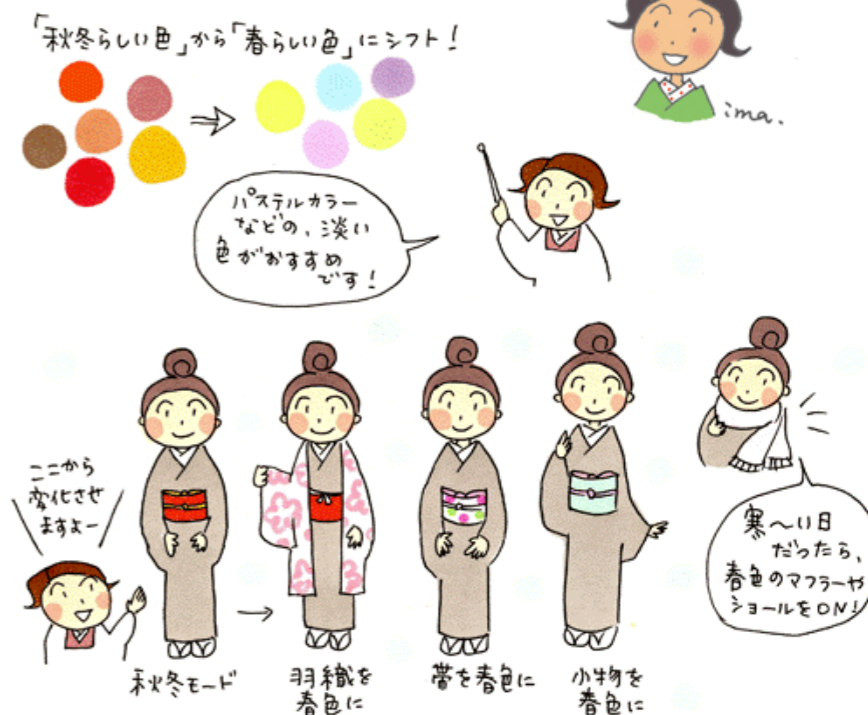


### 新春のご挨拶

明けましておめでとうございます。  
新しい年を迎え  
皆様にとって良い年になることを  
心からお祈りいたします。

### きくちいまコラム

いまコラム



### 1月の催事・イベント

- ◎お年玉祭り  
とき：15日(金)～17(日)
- ◎ポーセラーツ教室  
とき：21日(木)
- ◎月1キャンペーン：刺繍、おしゃれ半衿特割！  
期間：22(金)～30(土)
- ※各詳細のお問い合わせはお店まで

### さくらきもの学院

- ◎たくみの会  
とき：2月7日(日)  
詳細については後日ご案内致します。

ありがとう

